



Cool head but Warm heart

高木の一筆



討議資料
第11号 2024年3月号

衆議院議員

たかぎ ひろひさ
高木宏壽

日々の活動は SNS やホームページにて配信中！！

公式 HP <https://hirohisa-takagi.jp/>
Instagram https://instagram.com/takagi_hirohisa
Facebook <https://www.facebook.com/takagi.hirohisa>
Twitter https://mobile.twitter.com/takagi_hirohisa



第213回通常国会が開会いたしました。

本年は正月早々、大変痛ましい衝撃的なニュースが飛び込んできました。令和6年能登半島地震の発災、そして羽田空港での航空機衝突事故です。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された全ての方々に心からお見舞いを申し上げます。

さて、本年の干支は、「甲辰」です。力強く天に昇る龍の如く、山積する課題に立ち向かい、日本がそして札幌市が力強く飛躍する一年にしなければならないと思っています。

そして今がデフレ脱却の千載一遇のチャンスです。チャンスを確実につかむ年、日本経済を覆っていたデフレマインドとコストカットの縮み志向から完全に脱却する年になるよう、今通常国会では、いま札幌市が提案している「GX金融・資産運用特区」をはじめとしたGXの推進と、DXや半導体など戦略分野、成長分野への国内投資促進策などが盛り込まれた令和6年度予算案の早期成立に向けて、全力で取り組んでまいります。

昨年9月、復興副大臣を拝命してから半年が過ぎようとしております。この間、被災地に足を運び、現場の声を丁寧に伺うと共に、現場主義を徹底し、残された課題解決へ向けて取り組んでおります。東日本大震災の発災から13年が経過しようとしております。被災地のニーズは複雑かつ多様化しており、よりきめ細かな対応が必要になっています。今年度は、今年度は第2期復興・創生期間の中間点であり、引続き、東日本大震災から復興の加速化に向けて、職責を果たしてまいります。



衆議院議員 高木宏壽 事務所のご案内

〒062-0020
北海道札幌市豊平区月寒中央通 5-1-12
TEL : 011-852-4764
FAX : 011-852-0221
e-Mail : hiro.takagi@tune.ocn.ne.jp

地域での活動

●02/17(土) 自民党札幌女性局 研修会

令和6年 自民党札幌女性局 研修会に出席しました。今回の研修会では、北方領土問題をテーマとして、映画「ジョバンニの島」が上映されました。

この映画は北方領土の元島民であり、現在も語り部として活躍されている色丹島出身者である得能宏さんの経験を踏まえた、色丹島が舞台のアニメーション映画です。

また、2月7日は「北方領土の日」、2月・8月は「北方領土返還運動全国強調月間」です。北方領土返還要求運動の全国的な盛り上がりを図り、北方領土問題の国民の関心と理解を更に深めるために制定されました。

北方領土返還を実現するためには、世代を超えて、国民一人ひとりがこの問題を理解し、関心を高め、力を合わせていくことが何より重要です。

現在、ロシアによるウクライナ侵攻によって日露関係は厳しい状況にあります。北方領土の早期返還へ向けて、国民世論の喚起に向けて全力で取り組んでまいります。



●02/26(月) 憲法改正研修会

自民党北海道連の憲法改正研修会に出席し、札幌連会長として冒頭にご挨拶させていただきました。

憲法改正の実現へ向けて、国民世論の醸成を図るため、全力で取り組んでまいります。



副大臣公務

●02/21(水) 月例経済報告に関する関係閣僚会議

首相官邸での月例経済報告に関する関係閣僚会議に復興副大臣として出席しました。

2月の経済基調判断について「景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。」としています。また、先行きについては「雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。」との報告が有りました。引き続き、経済対策の効果が顕在化するよう取り組んでまいります。



●01/25(木) 宮城県出張

宮城復興局において、東北管区行政機関との意見交換会に出席しました。復興に関する進捗・課題を相互に共有し、意見交換を行いました。

また、JOCA(青年海外協力会)東北の拠点や名取市震災復興伝承館等を視察しました。JOCAは、青年海外協力隊経験者が中心となって設立され、途上国支援で培った経験やノウハウをもって国内で社会に貢献するため、各地において地方創生を目的として地域づくりに取り組んでいます。

真の復興と東北の発展に向けて、現地で伺った貴重なご意見をしっかりと受け止め、被災地の真の復興と東北の発展へ向けて、力を尽くしてまいります。



02/18(日) 福島県出張

●福島を味わう 食文化の結び PROJECT in 福島

土屋大臣、平木副大臣と共に「福島を味わう 食文化の結び PROJECT in 福島」に出席しました。

当プロジェクトは、福島県の魅力ある食材の付加価値を高めるメニューを開発、美食文化を発信することを通して、福島県内の農水産物の復興を促進することを目的としたイベントです。日本料理アカデミー所属の著名料理人らが、福島県内で活躍する料理人や生産者の皆さまと交流を行い開発した、福島県産食材を活用したオリジナル懐石メニューが完成し、美味しく試食させていただきました。



●第28回 原子力災害からの福島復興再生協議会

午後からは「第28回 原子力災害からの福島復興再生協議会」に出席しました。協議会では、国からの復興に向けた取組状況を報告し、内堀福島県知事をはじめ、地元関係者の皆さまから幅広いご意見をいただきました。福島の復興・再生には息の長い取組みが必要であることを改めて認識したところであり、今後も地元の皆さまの声を丁寧にお伺いしながら、福島復興のために尽力してまいります。



衆議院議員 高木ひろひさプロフィール

自由民主党札幌市支部連合会会長・自由民主党北海道第三選挙区支部長

札幌生まれ、札幌育ち

- 昭和35(1960)年4月9日札幌市生まれ
- 北海道札幌月寒高等学校卒業
- 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
- 米国ウエスタンワシントン大学MBA取得
- 北海道拓殖銀行ロサンゼルス支店等に勤務
- 北海道警察初の国際捜査官として勤務
- 朝日監査法人にて、米国公認会計士としてリスクコンサルティング業務に従事

北海道議会議員から国政へ

- 平成19(2007)年 北海道議会議員に初当選
- 平成24(2012)年 衆議院議員に初当選
- 平成27(2015)年 内閣府大臣政務官 兼 復興大臣政務官に就任
- 令和05(2023)年9月 衆議院議員3期目、復興副大臣に就任、党生活安全関係団体委員長、党金融調査会副幹事長、党北海道総合開発特別委員会事務局次長
- 趣味 ジャズピアノ演奏、音楽鑑賞、読書、ゴルフ
- 好きな食べ物 ラーメン・そば等の麺類、イタリアン

